

平成27年第2回定例会 一般質問要旨

河野 純之佐 議員（たいとうフロンティア）

一 自転車の施策について

駐輪場の整備について、次の2点を伺う。

ア 浅草通りの整備に伴い、稲荷町駅周辺には、違法駐輪が減った。そして、駅周辺において自転車駐車場が整備されていないのは、田原町駅周辺だけになったが、現状と今後の取組みについて伺う。

イ 駅周辺の自転車駐車場の整備は、適地が見つからず遅れている。整備は、土地の平面利用だけでなく、地下を立体的に利用するなどの手法も有効と考えるが、地下機械式駐輪場の整備について伺う。

② 自転車推奨ルートについて、次の2点を伺う。

ア 本区は自転車走行空間整備は、どのように取り組んでいくのか。

イ 浅草地域はこれまで、歩行者、人力車、観光バス等の問題が発生するたびに個別に対策をとってきた。

そこで、浅草地区全体の総合的な交通体系の整備の推進を図るべきと考えるがどうか。

③ 「台東区自転車安全利用促進条例」の実効性を高めるためには、保険の加入を区民に促すことが重要と考える。特に子供の保険加入については、区として助成が必要と考えるが所見を伺う。

④ 近隣4区では、自転車シェアリングを実施している。自転車シェアリングについて取り組んでいくのか伺う。

答弁 本駅周辺の自転車駐車場の整備は、設置可能な範囲が少

ないことや適切な候補地がないため実現に至っていない。今後、自転車駐車場整備の検討を継続する。

機械式地下駐輪場は、少ない面積で整備が可能であり、有効な

手段の一つです。しかし、機械式 地下駐輪場は、利用できる自転車の規格が定められているなど、多くの課題もあり、研究する。

次に、区内の回遊性を高める。区独自の 走行空間の整備も、検討する。

たいりゅう しょう

次に、浅草地区では、道路上で 滞留が生じ、交通安全上の問題がある。そのため、自転車 走行空間の整備方針の検討や観光バス対策の 基本計画の策定に着手したい。浅草地区全体の 総合的な交通体系の整備は、研究します。

次に、保険への加入についてです。

23 区初となる、子供を含めた 賠償責任 保険加入 及び点検整備の助成制度を実施する。

次に、レンタルサイクル事業との共存も視野にいれながら、導入の検討をする。

二 絆を育む親元の近居を促進する住宅施策について

三世代同居を推進する住宅施策を実施している。親・子・孫などの多世代が近居することにより、地域における絆を深めるとともに、世代間で助け合いながらの子育てや介護等が可能となり、行政コストの削減にもつながる。

多世代の区内近居について、推進していくべきと考えるがどうか。

きんぎょ そくしん

答弁 親世帯の近居の促進は、親と子と孫が同居する三世代が、安心して居住できる住宅の整備などを行う際の住宅助成を実施してきた。

親世帯との近居に関する住宅施策は、今後 研究して参ります。

三 オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組みについて

て

- ① 本区の子供たちが下町ならではの「おもてなしの心」を育むためにも、英語学習に力を注ぐべきであるがどうか。
- ② トップクラスのアスリートに接し、その迫力ある姿を見たり、直接指導を受けたりすることが、子供たちの心を動かす。子供たちがトップアスリートに触れる機会を教育活動の中で積極的に取り入れていくべきと考えるがどうか。
- ③ 本区のスポーツ振興に関する取組みや体制を充実させていくため、スポーツ振興の専任組織の設置とスポーツ振興財団の設立をすべき。

答弁 子供への英語教育の充実は、外国によるコミュニケーション能力を子供たちに身に付けさせることは必要。

また、専任の外国人英語指導員を派遣し、英語の授業や休み時間等でも子供たちと一緒に活動する環境を設定し、英語教育の充実を目指します。

次に、今後も学校にトップアスリートをお招きし、スポーツを通じた心身の調和した発達を目指した台東区のオリンピック・パラリンピック教育を推進してまいります。

「スポーツ振興の専任組織の設置」と「スポーツ振興財団の設立」は、今後研究する。

四 総合教育会議について

本区においては、過日教育大綱が策定されたが、区長の教育理念や方針は表現されたのか、区長に伺う。また、今後の総合教育会議を充実した内容とするためには、どのようなことに留意して進めるのか。

たいこう

答弁 「台東区 教育大綱」を策定し、「教育はひとづく

り」という観点から、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中さきで、将来の人材育成に取り組むことを基本とした。

また、「豊かな歴史と文化の尊重」をはじめ、「じた自他の尊重」

や「ちから社会を生き抜く力の育成」「家庭や地域社会のきずな絆の重視」

などを、

かか大綱に掲げた。